

2026年度聖学院大学大学院

政治政策学研究科
秋期入学試験問題

〔政治政策学研究科〕
修士課程

論述試験（60分）

<注意事項>

- ① 監督者の指示があるまで、この問題用紙を開かないで下さい。
- ② 監督者の指示により、解答を止めて下さい。
- ③ 試験終了後、問題用紙と解答用紙を回収します。
- ④ 机の上には、受験票・筆記用具のみを置いて下さい。
- ⑤ 質問等がある場合は、静かに挙手して監督者を待って下さい。

| | | | |
|----------|--|----|--|
| 受験 番号 | | 氏名 | |
|----------|--|----|--|

同封の論述試験テーマについて、解答用紙に1200字以内で論じなさい。

なお、解答用紙に分野を記入しなさい。

選択式問題の場合は、選択した設問の番号を記入しなさい。

(例： 分野〔経済・経営〕 番号〔①〕)

【税法】

消費税の逆進性が問題とされる背景・理由にも触れながら、その逆進性の緩和策（たとえば、軽減税率の軽減・廃止、給付付き税額控除制度等）についてあなたの考えを示してください。

聖学院大学大学院 政治政策学研究科修士課程
入学試験問題解答例等

| 入試実施年度 | 問題番号 | 試験科目名 |
|----------------------|----------|-------------------------|
| 2026 秋期 (25 年度実施) | MPTL-004 | 政治政策学研究科修士課程専門科目：税法分野科目 |

・入試問題解答例等

【設問】2026 年度 秋期入学試験（税法）

消費税の逆進性が問題とされる背景・理由にも触れながら、その逆進性の緩和策（たとえば、軽減税率の軽減・廃止、給付付き税額控除制度等）についてあなたの考えを示してください。

【出題意図】

消費税について、低所得者不利、高所得者有利とする逆進性の議論が従来から付加価値税導入国を中心に続けられてきた。我が国でも先の参院選の争点の一つに掲げられており、税の公平性と所得の再分配という観点から重要な政策論と言え、その論点に対する意見を問うことにより大学院生としての資質を問うものである。

【解答例】

以下の項目を採点の評価ポイントとする。

1. 租税における逆進性の意味
2. 我が国の消費税に逆進性が内包されているかどうか
3. 逆進性の緩和策とされる軽減税率の軽減・廃止、給付付き税額控除の内容の理解
4. 消費税率の軽減・廃止、国民一律給付（ベーシックインカム等）等他の緩和策の言及
5. 各緩和策のメリット・デメリット（実効性や行政コスト等）、それに対する自らの意見（公平性・所得再分配等）